



街芝ook甲原

街あるつく田原

平成30年6月15日(金)

第44号



LaLaGran

ララグラン

2018.6.3(SUN) GRAND OPEN!!

三河田原駅前が 生まれ変わりました!

●これからの田原中心市街地 と三河田原駅周辺の融合へ

田原の中心市街地の始まりは、田原城が築城、城下町が作られた文明12年(1480年)頃にさかのぼります。現在も、田原藩の幕末の先駆者である渡辺崋山や城下町に関連する史跡が数多く点在し、城下町特有のクランク状の道路(曲手)や城下町の面影を残す街並みのほか、田原祭りなどの歴史・文化が今なお息づいています。その一方、定住人口の減少や少子・高齢化及び商業機能の衰退が進展しています。

こうした背景に、豊橋鉄道渥美線三河田原駅、市役所、田原城跡(博物館)等を含む約88haの区域で、平成12年3月に策定した、旧法「田原町中心市街地商業等活性化基本計画」に基づき、文化施設や市街地の整備改善及び市街地再開発事業により整備した「セントファール」や、街路事業とともに協調建替を行ったはなとき通り等の商業の活性化に向けた各種事業が実施されました。

●ララグラン誕生と渥美半島 の「イントランス」の役割

そして、平成26年度に経済産業省の「商店街まちづくり事業(中心市街地活性化事業)補助事業」補助金を活用した調査事業の結果と外国人の来街状況を踏まえて、求められる本事業の役割を「渥美半島の魅力」と「味」を体感し、外国人観光客を半島全体へといざなうイントランス機能の設置」を目指し、この度、三河田原駅前工場跡地活用事業を開始。また、独立行政法人中小企業基盤整備機構の平成28年度の中心市街地商業活性化診断・サポート事業プロジェクト型にて、事業化支援と事業計画のブラッシュアップ支援を受けることとなり整備を行ってきました。

事業概要(整備する拠点の活用)渥美半島のイントランス機能)は、①「渥美半島の食」を体感できる商業施設の整備、②まちなか案内・情報多言語発信、③渥美半島体感ツアー組への誘導、④子育て支援の拠点となる「おやこ交流施設(2019年オープン予定)」の整備、⑤来訪者がくつろぎ交流できる「まちなか広場」の整備を実施し、「LaLaGran(ララグラン)」が誕生しました。

平成30年6月3日(日)「ララグラン」グランドオープン

三河田原駅前工場跡地が遂に渥美半島の「エントランス」として市民とゲストを結ぶ拠点としてスタートしました。



Bio MARINE
半島キッチン ビオまりん

産直レストラン
「半島キッチン ビオまりん」
●営業/平日 AM 8:00~PM 5:00
土/祝日 AM 11:00~PM 9:00
●休日/毎週火曜日
●電話/0531-27-8800

渥美半島の農畜水産物を活用し、素材の味を活かしたランチやディナーを提供する産直レストラン。メニューはビュッフェのほか定食も用意。田原市でとれたこだわりの野菜や総菜がビュッフェ形式で食べ放題となっています。



清谷川

街なか広場



おやこ交流施設

子育て世代包括支援センターの機能も備えた全天候型の親子交流施設。子育て期の親同士の情報交換の場、料理教室など親や女性の様々な活動ができる場、室内遊び場やクライミング等を設ける予定。

2019年4月頃完成予定

biscot café

COSTA-RICA



ベーカリーカフェ
「ビスコットカフェ こすたりか」

●営業/AM9:00~PM6:00
●休日/毎週火曜日



店内で作る焼き立てパンとテイクアウト商品も充実させたベーカリーカフェ。店内で気軽に食べたり、まちなか広場で食べたりと様々な楽しみ方を提供します。

Flower shop Hayashi



フラワーショップ
「フラワーショップ林」

●営業/AM10:00~PM7:00
●休日/毎週火曜日
●電話/0531-22-1385

まちなかの皆さまや田原を訪れたお客様をエントランスに沿った店舗を利用して、花の都・田原ならではの様々な種類の花を取り揃え、お出迎えます。



LaLaGran

田原のまちなかとゲストを結ぶ「新しいエントランス」

夢見心地な、うっとりするような
素晴らしさを演出するスペース

6月3日(日)にオープンした渥美半島の新しいエントランスは「LaLagran(ララグラン)」と名付けられました。ララ=夢見心地な、うっとりとするような、グラン=素晴らしいからの造語を意味します。

ララグラン内の商業施設では、渥美半島産の安心・安全・新鮮な食を提供する「おいしさ」を、まちなか広場では田原らしさを感じ、訪れた人が憩える空間の「心地良さ」を、親子交流施設(2019年4月頃オープン予定)では子育て世代への支援を提供・発信する「楽しさ」を創出し、これらの相乗効果により新たな人の流れや交流を生み出すことを目的としています。

施設横を流れる清谷川の四季をはじめ、施設内の芝生の緑や噴水の水といった自然を感じながら、市内外から訪れる人がいつでも渥美半島を体感できる、新しい渥美半島の拠点がついにオープンしました。

MÉRCY'S CAFÉ



スイーツカフェ
「メルシーズカフェ」

●営業/AM9:00~PM10:00
(日曜日のみPM9:00閉店)
●休日/毎週火曜日
●電話/0531-27-6204



併設するフラワーショップの花々を楽しみながら、東三河を中心とする新鮮なフルーツを使ったオリジナルスイーツと本格コーヒーを味わうことができるスイーツカフェ。

三河田原駅

メガネをかけることで良く見えるのは当たり前、 プラスお似合いのメガネをアドバイスします。

眼鏡店 リリーオブティーク **大根 崇義**さん



■生い立ちと修業時代

今年4月7日に、セントファール1階に眼鏡店「リリーオブティーク」を開業した大根崇義さんは昭和59年旧赤羽根町越戸に生まれ、高校まで地元で育ちました。高校卒業後、名古屋の大学で経営を学び、その頃から将来は眼鏡店を開業したいと考えていたそうです。大学卒業後、キクチメ



10年間勤務。子供を田原で育てたという思いも重なり、学生時代からの夢を実現するため昨年9月に退職しました。

■開業まで

退職後は開業準備のため、店舗の場所探しや資金調達に加え、どのような店にするのか頭では想像していましたが、いざ設計士から提示された平面図を見て



住 田原市田原町萱町1番地
セントファール 1階
電 0531-36-4198
営 10:00～19:00
休 第2・3水曜日/毎週木曜日
P セントファール共用



ガネに入社し、同時にキクチ眼鏡専門学校で4年間メガネについて学びました。キクチメガネでは名古屋、浜松、岡崎の店舗で



も理解できず苦労しました。特に内装や家具類については、オーダーしたものが多い、イメージ通りではないことも多く、店を創ることの難しさを痛感したそうです。

■大根さんのこだわり

メガネを購入されるお客様の要望は様々ですが、使いやすい、良く見えるのは当たり前で、その人に似合っているかどうかを一番重視します。そして、かけていて楽しくなる、人に自慢しなくなるようなメガネを多く取り揃えています。



■目指す店づくり

新たにメガネを購入しようとして検討されているお客様はもちろんのこと、遠方や他店で購入したお客様にも気軽にメンテナンスや調整にご来店頂けるような店を目指しています。

また、市内の店舗のパンフレットやチラシを置き、イベントや観光の案内をして、来店されたお客様に田原の街を愛して頂きたいとも考えています。最後に「地元の田原でお店を開業したことで、自分の店だけではなく、業種に関係なく人と人が「繋がる」きっかけ作りをして、田原の街全体が、そして渥美半島全体が活気ある街になる様頑張っています」と力強く仰っていました。